

にらさき

No. 60

令和2年4月号

社協だより & ボランティアだより



～誰もが安心して、充実した暮らしができる福祉のまち～



社会福祉法人

葦崎市社会福祉協議会

〒407-0037 山梨県葦崎市大草町若尾1680
(葦崎市老人福祉センター内)

TEL 0551-22-6944 FAX 0551-22-6980

TEL (法人後見専用) 0551-30-6011

E-mail : info@nirasaki-shakyo.or.jp

<http://www.shakyo.or.jp/hp/840/>

葦崎市社会福祉協議会

検索



運営事業所

■居宅介護支援(ケアマネージャー)事業所
(穴山事業所)

TEL 0551-25-6068

■大草デイサービスセンター『こぶし荘』

TEL 0551-23-5080

■穴山デイサービスセンター『なごみの郷』

TEL 0551-25-6068

■訪問介護(ホームヘルパー)事業所

TEL 0551-23-5040



第35回

市社会福祉大会

別表

受賞者

◇表彰

小澤 昭秀 (北杜市)
石井 敬子 (市地区)
名取 綾子 (旭町)

◇感謝状

大坪 章 (大草町)
(株)奥石運送土木 (市地区)
(株)山中産業 (清哲町)

2月21日(金)東京エレクトロン市文
化ホールにおいて、第35回市社会福祉
大会を開催し、市内の福祉関係者等360
名の方にご参加いただきました。
式典では、長年にわたり地域福祉に大き
く貢献された個人・団体(受賞者は別表の
とおり)に対して、表彰状、感謝状の贈呈
を行いました。
福祉関係作文発表では、市北東小学校
児童2名、市東中学校生徒1名による心
に響く作文を発表してくださいました。
講演では、阿部清人さんに『防災エンス
ショー』楽しく科学・伝える防災』と題し、
講演をいただきました。東日本大震災を体
験した経験から、被災地や避難所の現状や
防災グッズ、災害に関する事象を科学実験
でわかりやすく紹介してくださいました。

福祉関係作文

*作文は原文のまま掲載しています。

「福祉体験をやってみて」

市北東小学校 4年 一瀬 華乃



私はいろいろな福祉体験のじゆぎょうをしました。一番いんしょうに残った体験は、アイマスク体験です。この体験は、2人でやりました。ペアの人は、口だけで「右」もつと「左」という案内の仕方なのでどのくらい右や左に行けばいいかわからなく大変でした。ふつうに歩いていると、どこに物があるかわからなく、ぶつかりそうになったりしました。アイマスク体験で一番こわかったのが階段です。いつもふつうに「すたすた」とおいている階段ですが、いざアイマスクを付けてやると、どこに階段があるかわからなくつまずいてしまいました。手助け側になった時は、口だけで言うと、あっちこっち行ってしまうのでせなかをさわって手助けをしました。この体験をし、考えたことは、こんな生活が毎日続いたらもうすごい大変だと思えます。手助け側で考えると、この生活が毎日続いていると大変だからそのために、もうどう犬・白いつえがあるんだなと思いました。

次は、一番むずかしかった体験、点字体験です。この体験はまず、紙に6つの丸があり、それを「あ」だった丸を「あ」の文字になるように、ぬることからやりました。なれてきたら、自分の名前・物の名前

などをやり、次に、横の席の人が何という文字を書いたかというクイズでは、私は書いたのをみせられても何て書いてあるかわかんないから、教科書にのっている点字をみながらじゃないとこれは「あだ」「い」だ。というのがわかりませんでした。次は実際に、点字を打ってみました。初めて打った時は、いろいろ打つ所をまちがえてしまいましたが、なれてくると楽しくなってきたのでどんどん打ちたくなってきました。名し作りでは、名前・年・好きなことなどを打ちました。一番楽しかったのは絵本のほんやくです。短い絵本を班のみんなで文字を打ったら本にはなるということをしました。こんなことをやるなんてうれしかったです。最後まででは、できなかったけど、みんなで協力してできたので楽しかったです。この体験をし、考えたことは、こんないっばいのむずかしい点字をどうやって覚えるのか、すごいきょうみを持ちました。

次は、車いす体験です。私の学校はバリアフリーになっている所が少ないです。この体験は2人のと、1人のでやりました。教室でやった時は、かど・カーブが4カ所あったので曲がるのが、おそくなると後ろがつまっちゃってあせってしまいました。学校中をやった時には、ドアの開け閉めで時間がかかったし、指をはさんでしまったかったです。でもドアを開けるところまでいきました。そのなかで一番こわかったのはだんだんです。前の人がだんだんつまづいて、私もああなるかと思うとこわい気持ちでいっぱいでした。けれど無事ふつうに、だんさを通れてよかったです。この体験をし、こわさ・不安さがいっぱいありました。

考えたことは、ほじょ側になった時は、私が車いすをおしているのと前があんまり見えないので学校では、どこにだんさがあるかとかを分かるけど知らない道や初めての道は、何があるか分からないので、何があるかは、むずかしかったです。

次は、高齢者体験です。服・足・手に重りを付け、ひざはまがらないようにし、耳にヘッドホン、目にはゴーグルを付けた体験をしました。私はそれを付けたとたん、世界がいつぱにかわったようになり、目もあまり見えないし、耳もあまり聞こえないから、お年よりはいろいろと不便になるんだなと思いました。この体験をし、私がお年よりになった時、私は子どものころを思いだすと思います。お年よりになると「足やひざがいたい」「耳がわるい」「視力がさがる」という思いが少しでも分かったような気がします。

最後は、手話体験です。学校に「手話サークル」のみなさんが来てくれて、手話を教えてくれました。耳が聞こえない人に、つうやくをする人は、しゃべったことをすぐ手話にしておしえてあげて、すごいパパッと手話をやっていておどろきました。手話サークルのみなさんが、私たちの名前を手話で教えてくれました。私の名前は簡単でした。けれども手の向きがむずかしかったです。最後はみんな「じゃんけんれっ車」をしました。じゃんけんをして負けた人が自分の名前を手話で教えてあげるゲームです。最後は長い一列のれっ車になりました。

そして福祉の体験をして、この体験を何かに活かしたいと思い、学校で行われているふれあい祭りという

行事で少しでもいいからみんなに、しょうがいをもっている人のことやおじいさん、おばあさんの大変さを分かってもらいたいと思い、私たちは車いすと高齢者体験の出し物をしました。いつぱいい人が来てくれたのでよかったです。

最後にアイマスク体験では「こわさ」点字体験・手話体験では「むずかしさ」車いす体験・高齢者体験では「大変さ」が自分でもよく分かり本当にいい体験になったと思います。

「本当の福祉って何だろう？」

蕨崎北東小学校 6年 坂本 颯香



本当の福祉とは何か考えたことはあります。辞書で「福祉」と引いてみると

「人々の幸せ」「世の中の幸福」という意見が込められていると書いてありました。

私は、学校で児童会副会長を務めています。児童会として全校児童を引っばったこの1年間で、私は本当の福祉とは何か考えるようになりました。

児童会が中心となつて行ったボランティア活動。そこでは、タオルやせつけんなどを集めて、穴山なごみの郷というデイサービスへ届けました。すると、デイサービスにいたおじいさん、おばあさんたちが笑顔で贈りものを受けとってくれました。

そのときの、笑顔は本当に嬉しそうで、自分達がしたことこんな喜んでもらえるのだと、私も笑顔にな

りました。デイサービス全体が明るい笑顔でつづまれたあの瞬間は今でもせん明に覚えています。この思い出が本当の福祉とは何かを考えるようになった一番のきっかけです。

私のように、高齢者へスロープや手すりなどの大きなものを贈ることができなくても、私自身が高齢者の心に幸せを贈ることができるといふことを学びました。「児童会の活動以外にも自らの笑顔につながることをして、多くの人に笑顔の花を咲かせられる人になりたい」と強く思える出来事になりました。

穴山なごみの郷へ訪問してしばらくたつたある日、私はショッピングモールで視覚障害の人に出会いました。前がうまく見えさつとこわいはずなのに、その人は自信に満ちあふれていました。さつと、私だつたらこわくておどおどしていると思います。何があつても前向きに進む志をその人は私にくれました。

このような人を増やすためには、より平等な社会をつくるということが必要です。

そのために、私達ができることは「盲導犬を受け入れてくれるお店を増やすこと」「緊急のアナウンスの内容を私達が障害をもっている人にすばやく正確に伝えること」などたくさんあります。

しかし、そんな簡単に実行できないと考える人もいるでしょう。それならば、「点字ブロックの上にものをおかない。」など、小さなことから始めることができるのではないのでしょうか。

人思いやる大切な心。この心のやさしさであふれている社会。そう、それこそが私の思う本当の福祉です。ただ、福祉施設をつくりバリアフ

リー化するのではなく、心のバリアフリーをもつ、それこそが本当の福祉だと思えます。福祉についてみんなが真剣に考え、互いに思いやることで、世界中が本当の笑顔につつまれる。それが、私の考える本当の福祉です。

「心の杖」

蕨崎東中学校 1年 土井 結加



私たちのクラスは、「ぎんが工房」という施設に交流体験に行くことになりました。

「ぎんが工房」は、知的障がい者や情緒障がいのある方が50人ほど通っているそうです。この施設では、障がいを持っている方が仕事をするための通達点として、「自立する」ために学んでいます。「ぎんが工房」で働く人は、ほんの少しだけ手を貸して、障がいを持つ方たちを見守っています。そしてみなで力を合わせて、ラスクなどのお菓子や手芸品を作り、お店で売って給料を得ています。

私たちは班ごとにどのように交流するかを考えました。私の班は、絵合わせとボーリングをすることに決めました。交流会に向けて、準備を進めましたが、初めての経験で不安になることもたくさんありました。家で「ちゃんときるのかな。絵合わせやボーリングで楽しんでもらえるかな。」と相談すると、母に「あなたも一緒に楽しんでごらん。」といわれました。私は少しほつとしました。自分も楽しんでいれば相手も

楽しいのではないかと、いつもと同じでいいんだと思えるようになったからです。

交流会では母の言葉通り、私も一緒に思っている遊びました。もちろん自分だけが楽しむのではなく周りに気を配りながら楽しむようにしました。一緒に遊ぶうちに、「ぎんが工房」の方々と私たちがほとんど変わらないことに気づきました。私たちがより覚えることが少し遅かったり、苦手なことが少し多かったりするだけなのです。一緒に遊んだ方は、絵合わせが得意で私よりもたくさんとりました。ボーリングではルールを忘れて、一緒に大笑いしました。とても楽しかったです。

私は、交流会をするにあたって身構えてしまい、わけもなく不安になっていたのですが、みんな私たちとかわらないのです。苦手なところにちよつとだけ手を貸してあげればいいのです。私は学校でも、クラスの友達とわからないことを教え合っています。それと同じことをすればいいのです。福祉講話で「歩くのを支えるのは普通の杖ですが、心の杖は心の支えが必要な人に、私たちが寄り添うこと。」だと聞きました。その言葉は私の心につきささり、もっと福祉についてみなでよく知り、考えていかなければならないと思いました。なぜなら、私の周りには、障がいを持つ方のことを理解している人が少ないからです。障がいがあつても、少しの手助け、少しの気遣いで私たちと同じように生活できることをもっと知ってほしいと思います。みんなが、障がいを持つ方を理解する努力をし、困っている人がいたら、手を貸し、楽しく生活できる社会にしたいです。

赤い羽根共同募金ご協力ありがとうございました

令和元年度募金額 **5,377,278 円** (令和2年2月29日現在)

令和元年度に展開しました赤い羽根共同募金運動は、市民の方々をはじめ、市内各事業所及び関係機関のあたたかいご理解とご協力により、多額の募金が寄せられました。荊崎市で集まった募金の約70%が荊崎市の地域福祉を推進する活動に配分され、地域や高齢、障がい、防災など様々な分野に向けて大切に使われます。また、残りの約30%は、県全体の広域的な活動や災害などの準備金として使用されます。

事業所募金芳名

■荊崎地区

● 3,000 円
 梨北農業協同組合
 加藤進
 山梨トヨペット(株)荊崎店
 早川頼人
 (有)マルハク新聞舗
 (有)原木工
 亀伝
 ● 5,000 円
 (株)興石運送土木
 小屋歯科医院
 シャトレゼ 荊崎店
 JXTG エネルギー 荊崎北給油所 秋山油店
 (有)興石自動車工業
 (有)清水ビルディング
 (株)シミズヤ
 (株)三幸
 (株)上田商店
 (株)荊崎新聞販売センター
 (株)柳建工業
 新とき鮎
 清水屋旅館
 滝田建材(株)
 クレール ヤマガタヤ
 ● 10,000 円
 セントラル防災(株)荊北センター
 医療法人 いいのクリニック
 (株)セレオ
 昭和産業(株)
 (有)甲斐タクシー
 (有)フカサワ
 井筒屋醤油(株)
 (株)アートプリント
 (株)ニラボウ
 (株)フジヤ
 (株)ヨコカワ
 (株)小澤
 (株)内藤自動車工業
 関東電設(株)
 駒井土建(株)
 高野産業(株)

山本製麺所
 山梨農産食品(株)
 (有)荊崎スズキ販売
 富士島建設(株)

■穂坂町

● 1,000 円
 和食処 たか清
 ● 5,000 円
 藤原整骨院
 (株)コクテール堂 山梨営業所
 (株)滝田電気商会
 福德長酒類(株)荊崎工場
 (株)日設管興
 (株)信和
 横森自動車整備工場
 損害保険ジャパン日本興亜(株)
 (有)平賀工業所
 (有)砂畑建材
 ● 10,000 円
 医療法人 荊崎東ヶ丘病院
 (有)横内建設

■藤井町

● 3,000 円
 たのくらクリニック
 アミューズメントサービス(株)
 ● 5,000 円
 藤森耳鼻咽喉科医院
 (有)丸忠中込組
 ますやま整形外科クリニック
 鮎政
 (株)林製作所
 理容オザワ
 ● 10,000 円
 金丸重機(株)

■中田町

● 3,000 円
 つたや商店
 Hotto Motto 荊崎中田店
 マイルストーン
 ● 5,000 円
 国土興産(株)
 (有)村上石材店

萩原製菓
 ● 10,000 円
 (株)菊島
 (有)秋山組
 守屋歯科医院

■穴山町

● 3,000 円
 能見園 河西ワイナリー
 ● 5,000 円
 (有)内田建材
 (株)関東技研
 タイヤショップ中嶋
 ● 10,000 円
 能見荘
 島津工業所(有)(島津富雄)
 (株)島村組
 守屋弥生

■円野町

● 5,000 円
 細田設備
 (有)エース・エイト
 まるのや商店(真壁春夫)
 有井自動車整備工場
 (有)山形製作所
 一木産業
 ● 10,000 円
 (有)細田工務所
 (株)内藤
 (有)細田組
 ● 20,000 円
 (株)内藤ハウス

■清哲町

● 3,000 円
 (有)成工建設
 (有)水上測量調査事務所
 中部工業(株)荊崎工場
 小澤工業(株)
 藤巻ブロック工業所
 インターナショナルアロイ(株)山梨事業所
 雀荘カラオケ ひまわり
 ● 10,000 円
 (株)山中産業

甲斐プレコン(株)
 滝田建材(株) 清哲砂利工場
 ● 5,000 円
 肴や くうかい
 医療法人忠友会 荊崎クリニック
 (株)宮川商店
 ● 10,000 円
 (株)赤井輸送
 旭陽電気(株)
 横内良隆
 武田乃郷白山温泉
 (有)クヌギ螺子製作所

■旭町

● 5,000 円
 (株)石原精機製作所
 (有)長澤製作所
 樋口自動車整備工場
 (株)ササキ
 田中自動車工場
 秋山製作所
 (株)久保田自動車整備工場
 豊栄工業(有)
 ● 10,000 円
 (株)エーワン精密

■大草町

● 5,000 円
 菊島設備(株)
 ● 10,000 円
 野沢精工(株)
 秋山脳外科
 ホテル舟山
 (株)タンガロイ 荊崎工場
 (有)タクト
 三井金属ダイカスト(株)
 (株)荊崎電子

■竜岡町

● 3,000 円
 ローソン荊崎竜岡町店
 セブンイレブン御勅使工業団地入口店
 医療法人顕門会甲州サービスセンター-荊崎事業所

愛の家グループホームにらさき
 ● 5,000 円
 永晃観光(有)
 中部建材興業(株)
 やまもと整骨院
 荊崎観光自動車(株)
 (有)テラワン
 中嶋整骨院
 ちほりアンナ(株)
 医療法人にこにこクリニック
 ● 10,000 円
 山梨旭ダイヤモンド工業(株)
 キンキ製工(株)
 堀川板金塗装工場
 (有)堀川建設
 (有)荊崎ゴルフ
 清水工業(株) 山梨工場
 興石建材(株)
 明友機工(株)
 山梨宝栄工業(株)
 (株)サンフーズ 荊崎工場
 山梨化学工業(株)
 (有)土橋工務店
 竜伸工業(有)
 ツルヤ化成工業(株)
 (株)大丸金属
 (有)柳川丸庄製缶工業

■その他

● 6,000 円
 荊崎ライオンズクラブ
 ● 28,810 円
 オギノ・サントリーフーズ
 (順不同敬称略)



日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい・精神障がいのある方などのうち、自己決定能力が低下している方を対象に、**福祉サービスの利用支援**や**日常的金銭管理**などについて、お手伝いします。

※ただし、本事業の契約内容について判断ができる方に限られ、判断ができない場合には成年後見制度の利用対象となります。



■ 利用料金

福祉サービス利用の 援助・日常的金銭管理 サービス	1時間以内1,000円 1時間を超えた場合 15分ごとに250円を加算
交通費	1 km当たり20円 ※ 1 km未満は切り捨て
書類等預かりサービス (保管料)	月額300円 金融機関の貸金庫を 利用する場合は 実費相当分を追加

まずは
困りごとをご相談ください。

相談は無料
契約前に面談を重ね
必要に応じ「契約締結審査会」
へ審査を依頼します。

支援計画を作成し
利用者と山梨県社会福祉協議会
と韮崎市社会福祉協議会の
三者による契約を締結し
利用開始となります。

[お問い合わせ] 韮崎市社会福祉協議会 日常生活自立支援事業担当
TEL 22-6944 FAX 22-6980

法人後見事業

令和元年10月より、法人後見事業がスタートしています。
成年後見制度を活用する際に、成年後見人等に適任者がいない方に対し、韮崎市社会福祉協議会が成年後見人等となって支援する事業です。

まずはお気軽にご相談ください。

まずはご相談を

金銭的余裕や
身寄りがいない方は
誰に成年後見を頼めば
良いのでしょうか。



法人後見事業を利用
してみませんか。

支援の内容

ざいさんかんり 財産管理

本人の財産（預貯金や不動産など）管理に関する契約などについての支援。

しんじょうかんご 身上監護

介護、福祉サービスの利用、病院の入退院の手続きや費用の支払いなどを支援。

[お問い合わせ] 韮崎市社会福祉協議会 法人後見事業担当
TEL 30-6011 FAX 22-6980

葦崎市ボランティアの会支部活動報告

《葦崎支部》

葦崎支部は、会員が46名です。

会員数が地区により、差がある為、5地区に集約して活動しています。

年間の活動では、こぶし荘へのお手伝い、社会福祉協議会の事業への協力、各地区の事業に参加しています。それから会員の親睦の為の日帰りの研修旅行、地域を知る為の見学会、新年会、手芸教室などを行っています。

手芸教室では、その時に作品を決め、「ワイワイ、ガヤガヤ」と楽しく会話しながら作っています。

ストラップ等の作品は、交通安全協会に届け、とても喜ばれています。交通安全週間にドライバーの方々



に配布をしているようです。

また長年、毎月公民館の掃除、防災の日の炊き出しのお手伝いなど、それぞれ地区にあつた活動を行っています。

これからも、無理のない自然体で地域に根ざしたボランティア活動を続けて行きたいと思っています。

《葦崎支部長

流川 千恵子》

第28回 こぶしボランティア大会

令和2年1月27日（金）葦崎市老人福祉センター大広間にて第28回こぶしボランティア大会を開催いたしました。

この大会は、ボランティア活動の推進のために、ボランティアの会の会員相互の交流と資質の向上を図ることを目的に開催し、87名の会員が参加しました。

今大会では、講師に「キャン・ユー・スピーク甲州弁？」を出版し、甲州弁についてのご講演でご活躍中の五緒川 津平太（ごっちょがわ つっぺいた）氏をお迎えし、「甲州弁は山梨の宝だっつこん」と題した楽しいご講演をいただき、ちょっと笑える甲州弁に山梨らしいあたたかい絆を感じたひとときでした。

午後からは、役員の指導により、牛乳パックを使ったマナーケースづくりを行い、1日を通して、充実した大会となりました。



甲州弁は山梨の宝だっつこん 五緒川津平太氏講演



牛乳パックを使ったマナーケースづくり

穴山デイサービスセンター なごみの郷

☎ 25-6068

利用者様にとって毎月ボランティアによるゲームや歌や勉強が頭の体操になり、とても楽しみにしています。



営業中に災害が起きても万全な体制が取れるように、避難訓練を実施しています。誘導方法や不安にさせない声かけなど多くを学ぶことができました。



訪問介護事業所

☎ 23-5040

～ 住み慣れた我が家で、
生活を送っていきましょう ～

- ・まず自分で出来る事は継続しましょう。
- ・寒さで動かさなかった体を暖かくなってきたので、動かしましょう。
それには誰もが知っているラジオ体操が最適かと思えます。
- ・痛くなるまで無理をしない。

以上3点を試してみてください。

大草デイサービスセンター こぶし荘

☎ 23-5080

利用者様に、「楽しかった・来て良かった」と思ってもらえるようなデイサービスを目指しています。個人・小グループ・集団で取り組む多種多様なプログラムを用意しています。

①温泉に入っていて心も身体もほっこり！



②身体を動かし頑張っています！



③やりたい事、やってみたい気持ちを大切に個別レクに参加して頂いています！



居宅介護支援事業所

☎ 25-6068

介護が必要になってもその人らしい、自立した生活が送れるように、私たちケアマネージャーがお手伝いいたします。

介護・リハビリ・認知症などお困りのことがございましたらいつでもお気軽にご相談ください。

(ケアマネージャー：横森・伏見・小澤)

社協よりお知らせ

申し込み・お問い合わせ

蕪崎市社会福祉協議会 ☎22-6944

令和2年度 ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動保険			
概要	日本国内のボランティア活動中におこる様々な事故に対する備えとして、無償で活動するボランティアの方々のために発足したボランティア制度		
対象の活動	日本国内における自発的な意志により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動		
補償内容		基本プラン	天災・地震補償プラン
	死亡保険金	1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)
	入院保険金日額	6,500円	
	手術入院の手術保険金	65,000円	
	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷賠償責任	×	○
		5億円(限度額)	
保険料		基本プラン	天災・地震補償プラン
	年間保険料	350円	500円

介護支援ボランティア募集！

介護支援ボランティアは、活動者自身の介護予防や生きがいづくりを目的として行うボランティアです。

- 対象者 蕪崎市在住の65歳以上の方で介護保険料の滞納がない方
- 活動場所 市内の介護支援ボランティア受け入れ施設
- 活動内容 ①レクリエーションなどの指導、参加支援
②お茶出しや食堂内の配膳、下膳などの補助
③散歩、外出及び館内移動の補助
④行事の手伝い
⑤話し相手
⑥施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動
⑦その他

※詳しい内容や時間帯等については、各受け入れ施設の条件により異なります。

- その他 ボランティア活動をしてスタンプをためると最大5千円の交付金が受けられます。

老人福祉センターのど自慢大会

- 開催日時 令和2年5月28日(木)
13:00~15:30
- 会場 蕪崎市老人福祉センター大広間
- 応募資格 市内60歳以上の方
先着20組(ペア・団体含む)
- 申込方法 申込用紙に、氏名、住所、電話番号、歌手名、曲名を記入し事務局にお申込みください。

※申込書は事務局にあります。

※身分証の提示をお願いすることがあります。

※詳細は事務局へお問い合わせください。

おたすけ隊

おたすけ隊はあなたの身の回りのちょっとした困ったを解決する有償のボランティアです。

- 利用対象者 市内にお住まいの65歳以上の方で基本チェックリストに該当する方

- 料金 30分 50円 / 1時間 100円

- おたすけ隊 ゴミだし、話し相手、散歩、掃除、買い物(同行不可)等ができること

- 利用までの流れ

蕪崎市社会福祉協議会もしくは蕪崎市役所長寿介護課に困りごとの相談をします

ご自宅に訪問し、利用に向けた調査を行います

利用が決まったらおたすけ隊員との顔合わせ、日程の調整を行います

利用に応じて料金を生活支援コーディネーターへ支払います

- おたすけ隊員について

蕪崎市民かつ蕪崎市社会福祉協議会が開催する登録研修会の受講者

※今年度の研修については
予定が確定次第ご案内いたします。



コロナウィルスの感染者が、県内にも発生しております。諸事情により、蕪崎市老人福祉センターを休館及びこぶし号を運休とする場合があります。

詳細は、お問い合わせください。

皆様も感染対策をお願いいたします。

温かいご厚志ありがとうございました

- (株)マルハン蕪崎店様 菓子・お茶 5箱
- 蕪崎生活学校様 6,000円

